

## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042-749-2111
担当部課名	市民部	出張	大野南出張	所
事務事業名	出張所等維持補修費、南合同庁舎維持補修費			事業コード

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	~63 年度
施策名	第 施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市庁舎管理規則
------------

## 3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
南合同庁舎(建物及び設備)を的確に維持補修することにより、来庁市民の利便性、安全性と庁舎利用の各事務所の快適な事務環境を確保する。	1 市民 2 職員
	対象数 230,200
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
雨漏修繕、自家発始動用発電機修繕、自動ドア修繕、ファンモーター分解修繕、消防用設備修繕、駐車場ライン修繕 南市税事務所サイン修繕、 その他23件 需用費 6,336千円	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

## 4 評価指標

指標名	市民からの要望に対する改修率	職員の要望に対する改修率	委託業者の要望に対する改修率
指標式	修繕数/要望数×100	修繕数/要望数×100	修繕数/要望数×100
指標設定の意図	市民の要望に対して、どこまで改修できているか。	職員の要望に対して、どこまで改修できているか。	委託業者の要望に対して、どこまで改修できているか。

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	70	70	a 71	b 100	100	
指標	60	65	c 67	d 100	100	
指標	50	50	e 52	f 100	100	
事業費	決算(予算)額	3,878	8,123	6,336	6,477	6,269
	人員・時間数	3	1	1	1	1
	人件費	25,260	8,420	8,420	8,420	8,420
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	29,138	16,543	14,756	14,897	14,689
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか								
評価 C ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 63.4%						
	B:一部達成していない(100%> 80%)							
	C:達成していない (80%> )							
a	71.4	$\frac{71.4}{100.0} \times 100 = 71.4\%$	c	66.7	$\frac{66.7}{100.0} \times 100 = 66.7\%$	e	52.0	$\frac{52.0}{100.0} \times 100 = 52.0\%$
b	100.0		d	100.0		f	100.0	
理由:	庁舎の老朽化が激しく、いつどのような故障や改修すべきことが起こるかわからない状況にある。各年度予算の範囲内で緊急性の高いものから修繕を行っている。そのため、改修が必要と思われるものも執行できていない。							

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A:適応している	理由:	建物の維持管理は、年数が経過すればするほど多様化される。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 C ▼	A:妥当である	理由:	経済状況の厳しい中で必要最小限の予算で修繕をしていかなければならないため、改修できないものが多い。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 B ▼	A:代替の可能性ない	理由:	合同庁舎という建物の性格から、可能性は低い。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	施設の構造上から、市民の要望どおりに改修できないものがある。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	南部地域における、行政サービスの充実のため、有効である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> <p>正確な建物診断を受け、計画的な補修をすれば向上の余地あり。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> <p>建物が19年を経過しているため、故障箇所が年々増えている。</p>

7 総合評価

評価	B ▼	他自治体の類似事業との比較	特になし。
今後の進め方		説明	今後計画的に老朽箇所を把握し、的確な修繕を行うことにより、快適な環境を保持した事務所として市民・職員の要望に答える。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--